



「社会の課題」として 地域でサポート

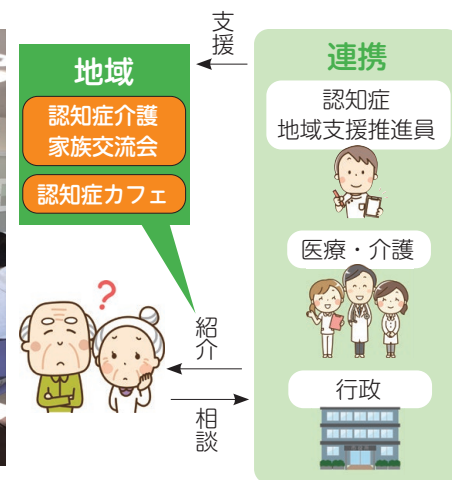
認知症地域支援推進員
大羽 啓允 さん

認知症地域支援推進員とは
「認知症支援全般の担当」として認知症で困っている人の相談を受けて、医療と介護の連携を図り、地域の支援やサービスにつなげる役割を担っています。普段は、市内各地域包括支援センターの職員として勤務しています。

気兼ねなく過ごせる環境を作る
認知症になっても住み慣れた場所です心安くして生活が続けられるよう、個別の相談業務のほか認知症カフェの運営サポートや認知症介護に携わる人が集う情報交換会を開催するなどさまざまな支援を行っています。

まずは支援を受けましょう
大切な家族が認知症になった時、できる限り介護したい、という気持ちがある一方で生活の変化や葛藤に苦しみこともあると思います。しかし、「他の人に迷惑をかけたくない」という思いから家族のただで懸念に行う介護には、必ずストレスが生じます。

介護は「あなただけ」「家族だけ」で抱え込めるものではなく、「社会全体の課題」です。介護の負担を減らすきっかけとして、さまざまな支援制度を受けてみてください。きっと、気持ちが軽くなるはずです。



認知症のことで悩みがある人へ ～支援制度を紹介します～

認知症ケアパス

ID 1003454

認知症の人の状態に応じた適切なサービス提供の流れをまとめた冊子です。認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続けるために、本人や家族が「いつ」「どこで」「どのような」医療・介護サービスを受けることができるのか具体的なイメージを持つことができます。

☎ 長寿課 (☎62-1063)



若年性認知症支援

ID 1010019

認知症を65歳未満で発症した場合「若年性認知症」とされます。働き盛りの世代で発症するため、本人だけでなく、家族の生活への影響が大きくなりやすい特徴があります。気になる症状がありましたら、専門機関へ相談してください。

▶ 若年性認知症総合支援センター

☎0562-45-6207

▶ 若年性認知症コールセンター

☎0800-100-2707

認知症介護家族交流会

ID 1003452

認知症の人を介護している家族などが、互いに悩みを相談し、情報交換することで介護負担を軽減できるよう交流会を毎月開催しています。

※11月開催分は、P23参照

☎ 長寿課 (☎62-1063)

認知症カフェ

ID 1003453

認知症の本人や家族、地域の住民、介護・福祉の専門職など認知症に関心のある人が集まり、情報交換や仲間づくりを行う場です。

予約不要で、誰でも気軽に参加することができます。

☎ 長寿課 (☎62-1063)

認知症個別相談

ID 1003451

時 毎月第1水曜日 14時～16時

場 介護老人保健施設かりや

内 専門医師による1人30分程度の相談

申 依佐美地域包括支援センター (☎63-5235)

百々さんの仕事

管理者として利用者全員の命を、あずかっている。施設の環境などをより良くするために適切な判断をしなければならぬ。重要な責任のある仕事ですが、皆さんに助けられ楽しく仕事をしています。

介護に興味を持ったきっかけ

福祉大学の講義で介護に触れる機会が多くあり、高齢者を取りまく社会の事情を見て、何か自分ができることはないかと興味を持ったのがきっかけです。

やりがい

利用者の笑顔を見た時はもちろんですが、利用者の家族から「ありがとう」や「助かってます」など、感謝の言葉をいただいた時はとてもやりがいを感じます。

介護の仕事の大変さ

グループホームにいる人達は認知症を患っており、年を重ねるにつれできないことや分からないことが増えて職員が関わるケースが多くあります。介護は大変ですが、そのサポートをすることが私たちの使命だと思います。



これから介護職に就く人や興味のある人へ

どうしたら利用者の状況が良くなるかなどを毎日、試行錯誤しながら取り組むと、より楽しく仕事ができるようになると思います！



管理者 百々 俊介 さん

介護職員の一日

18時	17時	16時	15時	14時	13時	12時	11時	10時	9時
退勤	夕食介助、服薬・口腔ケア	夕礼、夕食準備	おやつ準備	個別支援	休憩	昼食介助、服薬・口腔ケア	体操、トイレ介助	入浴介助	出勤、朝礼、掃除

管理者の一日

18時	16時	15時	14時	13時	12時	11時	10時	9時
出勤、朝礼	掃除	個別支援、事務作業	昼食介助	休憩	事務作業	地域活動	夕礼、状況確認	翌日のスケジュール確認、退勤

竹中さんの仕事

認知症を患った人が日々の生活を送れるように支援しています。自宅での生活が困難になり、施設へ入所した高齢者に対し、入浴、排せつ、食事などの日常生活全般の介護をする仕事です。

介護に興味を持ったきっかけ

介護の道に進んだ親しい友人から話を聞くうちに興味が湧き、介護の仕事を選択しました。実際に勤めた結果、とても自分に合っていて選択して良かったと思います。

やりがい

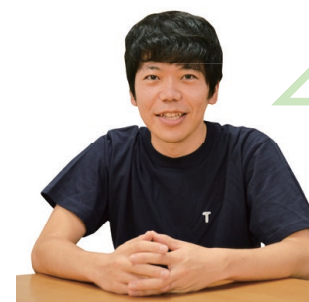
介護の仕事はうまく進むことばかりではありませんが、なかなか入浴できない人が入浴してくれたり、小食の人がいろいろなもの食べてくれたりするようになった時など、利用者に対する支援がうまくいった時にやりがいを感じます。

介護の仕事の大変さ

「認知症の対応」という部分が一番大変だと思います。何度も同じ事を言ったり、健康な人ができるような動作ができなかったり、気持ちが不安定であったり、それぞれ状況が異なるので、適切な対応をしていかなければならない点は大変だと思います。

これから介護職に就く人や興味のある人へ

どんな仕事にもそれぞれ大変さがありますが、それを受け入れることができれば、長く続けられて、楽しめると思います。介護には介護の楽しさがあるので、ぜひ体験してください！



介護職員 竹中 将史 さん

